

# 横浜市感染症発生動向調査報告 6月

## 《今月のトピックス》

- 麻しん・風しんの報告数が多い状態が続いています。
- 手足口病の報告数が増加しています。

### ◇ 全数把握の対象

#### 〈6月期に報告された全数把握疾患〉

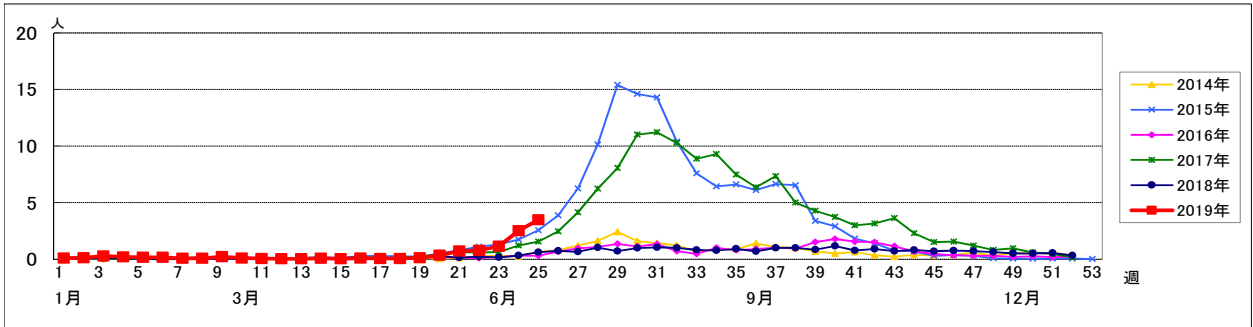
腸管出血性大腸菌感染症	2件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
E型肝炎	1件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む)	5件
A型肝炎	3件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2件
オウム病	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	6件
デング熱	1件	水痘(入院例に限る)	1件
レジオネラ症	10件	梅毒	12件
アメーバ赤痢	4件	百日咳	17件
ウイルス性肝炎	2件	風しん	14件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	6件	麻しん	18件
クロイツフェルト・ヤコブ病	1件	—	—

- 腸管出血性大腸菌感染症: O157の報告が2件あり、いずれも感染経路不明でした。
- E型肝炎: 感染経路不明の報告が1件ありました。
- A型肝炎: 経口感染と推定される報告が2件、感染経路不明の報告が1件ありました。
- オウム病: 国内にて動物・蚊・昆虫等からの感染と推定される報告が1件ありました。
- デング熱: モルディブでの蚊からの感染と推定される報告が1件ありました。
- レジオネラ症: 肺炎型の報告が9件、無症状病原体保有者の報告が1件あり、感染経路等不明でした。
- アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症の報告が4件ありました。感染経路は国内での同性間性的接触が1件、不明が3件でした。
- ウイルス性肝炎: B型の報告が2件ありました。感染経路は詳細不明の性的接触が1件、不明が1件でした。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 6件の報告があり、感染経路等不明でした。
- クロイツフェルト・ヤコブ病: 古典型CJDの報告が1件ありました。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: A群の報告が1件ありました。
- 後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む): AIDSの報告が3件、無症状病原体保有者の報告が2件あり、感染経路はいずれも性的接触(同性間が3件、異性間が1件、詳細不明が1件)で、いずれも男性でした。
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症: 70歳代および80歳代の報告が1件ずつありました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症: 幼児の報告が2件(いずれもワクチン接種あり)、50歳代の報告が1件(ワクチン接種あり)、60歳以上の報告が3件(いずれもワクチン接種なし)ありました。
- 水痘(入院例に限る): 10歳代の検査診断例の報告が1件(ワクチン接種なし)ありました。
- 梅毒: 12件の報告(無症状病原体保有者2件、早期顕症梅毒Ⅰ期7件、早期顕症梅毒Ⅱ期3件)がありました。感染地域は国内10件、マレーシア1件、不明1件でした。感染経路は異性間性的接触が8件、同性間性的接触が3件、感染経路不明が1件で、性別は男性10件、女性2件でした。
- 百日咳: 10歳未満では乳児2件(ワクチン接種なし)、幼児4件(ワクチン接種あり3件、不明1件)、小児7件(ワクチン接種あり5件、不明2件)、10歳代3件(ワクチン接種あり1件、不明2件)、20歳代1件(ワクチン接種不明)の報告がありました。
- 風しん: 検査診断例14件が報告されています。10歳未満1件(ワクチン接種あり)、20歳代2件(ワクチン接種なし1件、不明1件)、30歳代4件(いずれもワクチン接種不明)、40歳代7件(ワクチン接種なし1件、不明6件)でした。男性11件、女性3件でした。
- 麻しん: 検査診断例13件、修飾麻しん5件が報告されました。うち8件は麻しん患者との接触があり、健康観察期間中の発症でした。感染地域はすべて国内です。年齢別では10歳未満が4件(ワクチン接種あり1件、なし3件)、10歳代1件(ワクチン接種あり)、20歳代4件(ワクチン接種あり3件、なし1件)、30歳代8件(ワクチン接種あり4件、なし2件、不明2件)、50歳代1件(ワクチン接種なし)でした。

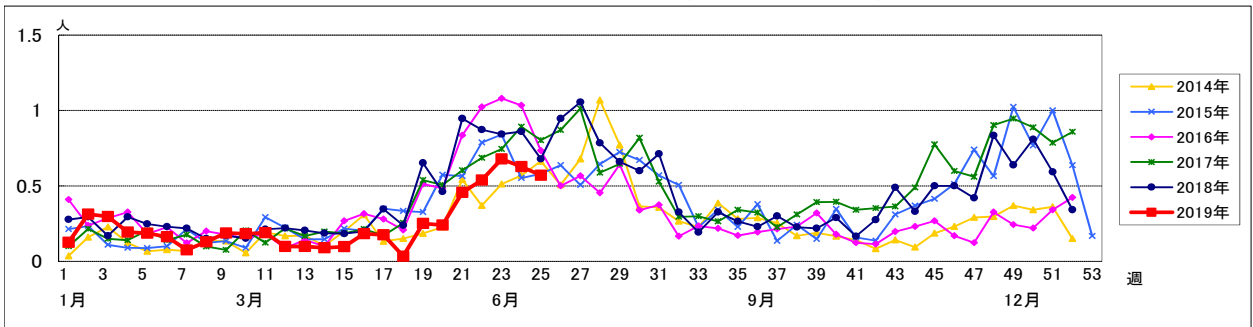
◇ 定点把握の対象

報告週対応表	
第22週	5月27日～6月2日
第23週	6月3日～6月9日
第24週	6月10日～6月16日
第25週	6月17日～6月23日

1 手足口病: 2019年は0.05から0.10で推移していましたが、第20週に0.35、第21週に0.71とやや増加傾向となり、第24週に2.52、第25週に3.47と増加しています。近年では2015年、2017年の夏期に増加しました。今シーズンは例年の同時期の報告数を上回って推移しています。



2 咽頭結膜熱: 2019年は0.1から0.2で推移していましたが、第25週は0.57と増加しています。



3 性感染症(5月)

性器クラミジア感染症	男性:30件	女性:23件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:7件	女性:8件
尖圭コンジローマ	男性:8件	女性:0件	淋菌感染症	男性:18件	女性:5件

4 基幹定点週報

	第22週	第23週	第24週	第25週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.25	0.25	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.25	0.33	0.00

5 基幹定点月報(5月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	5件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	—	—

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

6月に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点44件、内科定点13件、基幹定点10件、眼科定点5件で、定点外医療機関からは0件でした。

7月9日現在、ウイルス分離9株と各種ウイルス遺伝子18件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(6月)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上 気 道 炎	下 気 道 炎	イン フル エン ザ *	け い れ ん 重 積	咽 (ア デ ノ 結 膜 熱 *) 感 染 症 ) *	胃 腸 炎	手 足 口 病 *	へ ル パ ン ギ ー ナ
インフルエンザ AH1pdm09型	1		1					
インフルエンザ B (Victoria)型			2					
アデノ 1型					1			
アデノ 2型	2				1			
アデノ 3型	1							
コクサッキー A 6型	1	1				1	5	1
ヒトメタニューモ				1	1			
ライノ	2		1					
ロタ						2		
ノロ G2						2		
合計	4 3	0 1	3 1	0 1	2 1	0 5	0 5	0 1

上段:ウイルス分離数/下段:遺伝子検出数

\*:疑い含む

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

## 〈細菌検査〉

6月の「菌株同定」依頼は、基幹定点から腸管毒素原性大腸菌3件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌2件、ブラキスピラ属菌2検体、大腸菌1件、サルモネラ属菌1件、劇症型溶血レンサ球菌1件となっており、非定点からは、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌6件、肺炎桿菌4件の依頼がありました。

保健所からは、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌6件、劇症型溶血性レンサ球菌4件、腸管出血性大腸菌2件、肺炎球菌2件の依頼がありました。

「分離同定」に関しては、基幹定点からリケッチア1件、非定点からレプトスピラ抗体価測定2件、保健所からレジオネラ3件の検査依頼がありました。

小児科定点からは、A群溶血性レンサ球菌4件、消化器系病原菌1件の検査依頼がありました。

表 感染症発生動向調査における細菌検査結果(6月)

菌株同定	項目	検体数	血清型等
医療機関	腸管毒素原性大腸菌	3	O6 LT、ST (1)、O159 ST (1)、O6: H- LT、ST (1)
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	2	<i>Escherichia coli</i> (1)、 <i>Enterobacter cloacae</i> (1)
	基幹定点 ブラキスピラ属菌	2	<i>Brachyspira aalborgi</i> (2)
	大腸菌	1	<i>Escherichia coli</i> O15 (1)
	サルモネラ属菌	1	<i>Salmonella</i> Infantis (1)
	劇症型溶血レンサ球菌	1	A群溶血性レンサ球菌 TB3264 (1)
	非定点 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	6	<i>Klebsiella (Enterobacter) aerogenes</i> (2)、 <i>Klebsiella pneumoniae</i> (2)、 <i>Enterobacter cloacae</i> (1)、 <i>Escherichia coli</i> (1)
	肺炎桿菌	4	<i>Klebsiella pneumoniae</i> (4)
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	6	<i>Klebsiella (Enterobacter) aerogenes</i> (3)、 <i>Enterobacter cloacae</i> (3)
	保健所 劇症型溶血性レンサ球菌	4	A群溶血性レンサ球菌 T1 (1)、B群溶血性レンサ球菌 (2)、G群溶血性レンサ球菌 (1)
腸管出血性大腸菌	2	O26 VT2 (1)、O157 VT2 (1)	
肺炎球菌	2	<i>Streptococcus pneumoniae</i> (2)	

分離同定	項目	材料	検体数	同定、血清型等
医療機関	基幹定点	リケッチア	痂皮 1	不検出(nested-PCR)
	非定点	レプトスピラ抗体価	血清 2	不検出2件(国立感染症研究所)
保健所	レジオネラ	喀痰	3	不検出3件(培養法)

小児科サーベイランス	項目	検体数	同定、血清型等
小児科定点	A群溶血性レンサ球菌	4	T4 (1)、T6 (1)、T25 (1)、T型別不能 (1)
	消化器系病原菌	1	<i>Campylobacter jejuni</i> (1)

【 微生物検査研究課 細菌担当 】